

花巻中央地区コミュニティだより

そうだなはん

第105号
2025
12月号

花巻中央地区コミュニティ会議
住所:〒025-0075 花巻市花城町1-30
(花巻中央振興センター内)
電話:0198-23-5290(fax 兼用)

sodanahan18@gmail.com

第14回「うちわピンポン大会」

11月2日(日)まなび学園体育室で第14回になります「うちわピンポン大会」が行われ、A ブロック、B ブロックに分かれ対戦し次のような成績でした。

◇参加チーム(9チーム)※申し込み順

A ブロック(大町・桜木町・花城町二区・仲町)
B ブロック(双葉町・大通り二丁目・上町・吹張町・豊沢町)
はじめに A・B ブロックのリーグ戦を行い各ブロック1位と2位のチームが決勝トーナメントに進み、優勝を争いました。

結果は、優勝=仲町、準優勝=双葉町、第3位=大町、第4位=豊沢町でした。選手たちはスポーツの秋に汗を流し各試合とも熱戦を繰り広げ、楽しいひと時を過ごしました。



令和7年度 代議員懇談会

※代議員とは、各行政区より選任された2名の方々で構成)

令和7年度代議員懇談会が11月14日(金)振興センターで開催されました。事業報告と決算の中間報告を兼ねて行うもので今年度の事業を時系列に報告、決算については、現在までの要望の実施状況の報告をしました。

今年度は、夏の猛暑で恒例の「スポーツフェスタ2025」の中止などありましたが概ね事業は、実施されました。

予算についても概ね実行されました。振興センター事業は、今年度5年契約の最終年度です。令和8年度は、新しい5年間が始まります。中央地区として更なる「まちづくり」を進めていくことを確認いたしました。



◎「そうだなはん」は次の行政区に配布しております。
()は、世帯数です。

大通り一丁目(154)、大通り二丁目(67)
未広町(75)、桜木町(160)、南川原町(95)
鍛治町(80)、双葉町(135)、上町(56)
豊沢町(198)、東町(170)、大町(69)
仲町(110)、御田屋町(120)、里川口町(229)
城内(81)、花城町一区(120)、花城町二区(40)
吹張町(98) 18行政区計 2,057 世帯

令和7年度移動図書館車

「ぎんが号」日程

12月19日(金)

10:00～10:30	東町公民館前
10:40～11:00	双葉町松庵寺前



<3B 体操教室>

中央地区コミュニティ生涯学習事業「3B体操教室」が開講になりました。3B(ボール・ベル・ベルター)を使い音楽に合わせて楽しく体を動かす体操です。受講者は、冬季間の運動不足解消に一生懸命取り組んでいます。



<こどもいけばな教室>

今年第6回目の「こどもいけばな教室」がまなび学園で開催されました。今月のテーマが「和室でのマナーとお花のやくめ」まなびの和室を使用し、最近畳に触れる機会が少なくなっていますので日本の伝統である畳の部屋での所作をいろいろ学びました。

<使用したお花>

◎フェイジョア(緑葉)◎ピンポン菊(黄色)◎バラの実



止血法

お問合せ:花巻市消防本部警防課 0198-22-6124

●傷口から血液が、吹き出るような出血(動脈性出血)や大量に流れるような出血(静脈性出血)の場合は、早急な止血が必要。



直接圧迫止血法

- 清潔なガーゼやハンカチ、タオルなどを重ねて傷口に当て、その上から出血部位を指先や手のひらで強く圧迫する。
- 大きな血管からの出血の場合で、片手で圧迫しても止血しないときは、両手で体重を乗せながら圧迫する。傷口を心臓よりも高くする
- 傷口を心臓よりも高い位置にすると、より止血効果は高まる。

<ポイント>

- 感染防止のため血液に直接触れないように、できるだけニトリル製やゴム手袋を使用すること。ビニール袋などで代用することもできる。
- 出血が止まらない場合、包帯などを利用した即席の止血帶で手足の付け根を縛る方法もありますが、神経などを痛める場合があるので、その訓練を受けた人以外は行わない。
- 圧迫位置が出血部位からずれていたり、圧迫する力が足りていないと十分に止血できず、ガーゼなどが血液で濡れてきます
- 出血が止まらない場合、包帯などを利用した即席の止血帶で手足の付け根を縛る方法もありますが、神経などを痛める場合があるので、その訓練を受けた人以外は行わない。
- 圧迫位置が出血部位からずれていたり、圧迫する力が足りていないと十分に止血できず、ガーゼなどが血液で濡れてきます

《重要》



【ショック症状がみられるとき】

- 目はうつろ
- 表情はぼんやり
- 唇は白っぽいか紫色
- 呼吸は浅く、速い
- 冷や汗が出る
- 体が震える
- 皮膚は青白く、冷たい

※上記症状が、同時に現れるわけではありません。

このような症状が見られたときは、生命に危険が迫っているので、
すぐに119番通報してください。